

数学理科甲子園 2016 結果 参加 5 大会連続本選出場 決勝進出ならず

2016 年 11 月 5 日、甲南大学にて数学理科甲子園 2016 が行われました。今回の大会は県下 75 校が参加しました。

今年度は、物理部員の 2 年生、1 年生が 1 名ずつ、2 年生の有志 4 名、1 年生の有志 2 名の計 8 人での参加です。9 月より、週 1 回程度、過去の問題を解くなど練習を重ねてきました。

チーム名は「チーム弘中」。まずは、開会式の後には個人戦が行われました。数学が 2 題、理科が 6 題。これを 25 分間で 3 名で解きます。問題は、会場のスクリーンに映し出されます。印象としては、昨年より解きやすい問題が多かったような気がします。個人戦終了後、3 人で答え合わせをしていましたが、まずまずの出来のようでした。

その後、団体戦が行われました。これは、3 人で協力しあい、8 題を制限時間 2~4 分で解き、5 択で解答を出していきます。例年の流れだと、せめて半分は正解したいと思っていました。しかし、なんと結果は 5 題正解。立派な成果でしたが、参加した生徒は、もっとできたのではというような悔しそうな顔でした。

午後の部は、予選通過発表チームの発表です。発表は 1 位から順番に発表されていきます。例年の勝ち残る強豪校が次々と呼ばれます。だめかなと思いつつ始めた 8 番目に、8 位「チーム番号 63 番、西宮市立西宮東高等学校」と呼ばれました。例年なら、大歓声なのですが、今年のメンバーは「呼ばれちゃった」という感じの静かな雰囲気。引率教員だけガッツポーズでした。参加 5 大会連続の本戦出場です。

その後、すぐの本選の数学です。問題は、直角三角形を線分で 2 等分しなさいをできるだけ見つけられないという問題。例年通りの難題です。生徒は「とにかく、適当におもいつくだけ書いた」とのこと。「なんとかなるかも」と淡い期待。

そして、理科は「斜めの方向からあたる風力を使って、台車を走らせる」という課題でした。ここには 2 年生の物理部員そして 1 年生有志 2 名の出場です。2 年生は、「揚力をつかう」ことを思いつき、台車を見事走らせることができました。

その後、決勝チームの発表でしたが、4 チームの中に入ることができませんでした。

しかし出場 5 大会連続の本戦出場は立派でした。来年こそは、決勝進出を目指して頑張りたいと思います。



本戦 数学の様子



本戦 理科の様子